



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 59

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 59. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1957, 59: 23-27

ISSUE DATE:

1957-08-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186808>

RIGHT:

京都大学 瀬戸臨海実験所 振興會

水族館 月 報

No. 59

1957. 7月(8月4日)

録 事

7月の前半は雨が多かったが、臨海地区の~~水~~不足は依然として解消せず、そのまゝ後半に入って本格的な夏の好天を見るようになった。学校も夏休みに入ったので、来館者も除々に回復し、特に臨海学舎の児童が多くなってきた。

内海委員は5日無事退院したが、依然としてギブスをはめたまゝ執務している。実習指導のため来所した宮地会長を交えての話し合いの結果、常務の仕事は引きつづき内海委員がとることになった。

2日より例年通り納涼バス運転に伴ない、夜間一時水族館を開くこととなったが、連日閑散の模様である。

海水ポンプはその後修理を要せず好調を続けているが、28日に取入口の淤滞をおこした。

業務概況

◎ 7月の入場者数

区 分	水族館発売数		明光バス発売数		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
大 人	4081	32823	7846	65567	11927	98390
小 人	342	2410	230	1265	572	3675
団 体	7867	56509	—	—	7867	56509
合 計	12290	91742	8076	66832	20366	158574
無料入場者	清水小学校児童 交通公社職員 他				303	966
団 体	— 般		47組, 学生		25組 計	72組

◎ 7月の事業収入

(今年度累計)

観覧券売上金 36,0215 2,905,390

予金積立金利息 4,000 315,000

雑 収 入 90 695

魚 類 掛 下 — 17,300

計 420,305 3,238,385

◎ 7月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	61203	303870	
会 社 費	—	65903	
備 品 費	11600	20400	扇風機, ハンマー
消 耗 費	17705	48150	
事 業 費	45433	211,267	
維 持 費	14915	66040	5台モーター機替他
其 他 諸 経 費	2137	44237	
積 立 金	74540	591,064	
合 計	227533	1,360,931	

実業所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	30,000	30,000	時國山路布地委員
奨 学 金	12,000	25,000	5月分追加
備 品 費	56,584	145,549	協和顕微鏡他
消 耗 費	—	600	
役 務 費	130,000	130,000	寺宿舎硝子戸取付
合 計	228,584	331,149	

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	17,700	65,970	
備 品 費	7,460	264,520	海藻標本額
消 耗 費	—	6,530	
役 務 費	5,410	7,010	博物館修理
合 計	30,750	344,030	

臨時費

支 出 な し

支出合計 (今年度累計)

水族館経費	227,533	1,360,931
実験所経費	228,584	331,149
博物館経費	30,750	344,030
臨時費	—	59,940
計	486,867	2,096,050

◎ 7月末現在高

前月からの繰越	3,585,009
今月の収入合計	420,305
今月の支出合計	486,867
計	3,518,447

◎ 前年度との比較

	1956	1957	増	減
入場着数	19062	20366	+	1304
売上金	332,353	360,215	+	27,862
支出金	189,529	486,867	+	297,338

水族館記事

- ◎ 1日小アジ2貫500匁を購入し、No. 37水槽のイセエビ、ニザダイと一緒に入れたがアジの群は壮観で観客をよろこばしている。この様にみんなに馴染み深い身近な魚類を入れることも必要と思われる。

- ◎ 8日アカウミガメ2匹入槽 (白良浜と臨海浦で捕獲されたもの)。
- ◎ 10日加納島でアクアランクを用いて採集したツボヤギ、アカヤギ、ウミシダ、サンゴ、海綿类等を多数補充して、水槽内を賑やかにした。
- ◎ 11日イタチウオ1匹、ウミヘビ3匹入槽、クエ1匹死亡。
- ◎ 12日カブトガニ1匹死亡。
- ◎ 14日ミノカサゴ1匹入槽、ゴイシウミヘビ、マダコ、シロサメ各1匹死亡。
- ◎ 15日イタチウオ1匹死亡。
- ◎ 17日ミノカサゴ1匹死亡。
- ◎ 19日サカタザメ、ウマヅラハギ各1匹死亡。
- ◎ 21日クエ、サカタザメ各1匹死亡。
- ◎ 22日ミノカサゴ、チヨウチヨウオ各1匹入槽。
- ◎ 23日1貫500枚程のハモ1匹堺の漁師より購入、マダコ、キツネベラ各1匹死亡。
- ◎ 26日ハモ、ミノカサゴ1匹づつ死亡。
- ◎ 27~28日 オトヒメエビ5匹が入槽、No.19の水槽をかざる。
- ◎ 30日サカタザメ1匹死亡。
- ◎ 31日イザリウオ1匹死亡。

博物館記事

- ◎ 和可浦産の長さそれぞれ1.8 m, 1.0 m, 0.8 mに及ぶ巨大なアサクサノリ3具(山路委員採集)と田辺湾産の長さ0.5 mに及ぶ見事なヒロメ1具(山本虎夫氏採集)の腊葉標本を新しい試みとして硬化ビニールの平面額に収め、展示することにした。
- ◎ 今月より博物館の流しの修理と壁のはり替えに着手した。

資 料

- ◎ 7月の気象

	上旬	中旬	下旬
晴天日数(21)	5	8	8
気温(℃)	23.6 ~ 26.2 25.1	24.9 ~ 27.5 26.6	24.8 ~ 28.8 26.9
水温(℃)	23.9 ~ 24.8 24.3	25.1 ~ 26.5 25.7	25.8 ~ 26.9 27.2
比重	21.2 ~ 23.7 22.1	22.1 ~ 23.2 22.8	22.0 ~ 22.6 22.4

但し { 気温は南水槽室
水温 } で9時測定
比重 } はNo.25水槽

来訪録

7月23日 エル大学ピーボデー博物館のDr. Willard D. Hartman がイン
ド洋への探検調査の途次、10日間を海綿採集のため実験所で過される。

昭和32年8月4日 (No. 59)

編集兼
発行者

内海 富士夫

発行所

瀬戸臨海実験所振興会
瀬戸臨海実験所内
瀬戸臨海実験所
(Tel. 白 515)